

医療センターニュース

編集／三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 <http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL(059)345-2321(代表) E-mail:sogohos@mie-gmc.jp

新理事長が就任いたしました

このたび平成30(2018)年4月1日に、地方独立行政法人三重県立総合医療センターの理事長並びに病院長を拝命しました新保秀人でございます。私は昭和54(1979)年に三重大学医学部を卒業後、胸部心臓血管外科(当時胸部外科)に入局し、主に心臓血管外科の領域で仕事をまいりました。平成16(2004)年に教授に就任し、附属病院副院長を経験したのち、平成27(2015)年より三重大学副学長を兼任してまいりました。そしてこの4月1日より歴史と伝統のある当院で勤務することとなりました。



三重県立総合医療センターは、昭和23(1948)年8月に三重県立医学専門学校三重県立医科大学附属塩浜病院として発足し、その後三重県立大学医学部附属病院を経て、県立大学の国立移管に伴い、県立総合塩浜病院となりました。

その後、平成6年10月から現在の地に移転し、三重県立総合医療センターとして新たなスタートを切りました。

そして、平成24年4月1日より医療をとりまく環境の急激な変化に迅速に対応できる体制にするために、地方独立行政法人に移行しました。地方独立行政法人の特徴ともいえる機動性、柔軟性をいかし、県民の皆様のためにより一層の高度先進医療を実践するとともに、安全で安心できる医療を提供し、さらに職員にとってもやりがいを持てる働きやすい職場となるように全力で務めたいと考えています。

今後も皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30(2018)年4月
地方独立行政法人三重県立総合医療センター
理事長・病院長 新保 秀人

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーション向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

新理事長が就任いたしました……………1	病院の機能分化(役割分担)にご理解をお願いします……………6
地域連携課(かけはし)のご案内……………2	三重県立総合医療センター選定療養費 (非紹介患者加算料)を引き上げました……………6
がん看護専門看護師の役割……………3	重心動揺検査をご存知ですか……………7
へい!ドクター ちょと、おしえ〜て! 生活習慣と脂肪肝(白木副院長)……………4	交通のご案内……………7
地域医療機関の先生方へ……………4	外来診療医師担当表……………8
「がん市民公開講座」を開催しました……………5	
非常勤職員を募集します……………5	

地域連携課(かけはし)のご案内

地域連携課は、ご利用いただく患者のみなさまや地域の医療機関の相談窓口です。

「かけはし」という名称は、病院内外の人と人、病院と地域をつなぐ「かけはし」としての役割を担う地域連携課に親しみをもっていただけるよう病院職員の公募により名づけられました。

現在、地域連携課「かけはし」のスタッフは副院長の白木医師のもと、看護師 3 名、社会福祉士 5 名、臨床心理士 1 名、事務 5 名の 15 名で活動しており、主に「地域連携業務」と「相談業務」の2つの業務に取り組んでいます。

「地域連携業務」では、近隣の診療所・病院、介護施設からの患者様の紹介に対して、スムーズな受け入れができるよう対応しています。

近頃の医療では、ひとつの病院で病気やけがが治るまで入院していただくのではなく、治療の段階に応じて地域の医療機関が連携しながら、それぞれの役割を分担して医療を受け持っています。そのため、急性期病院での治療終了後には、地域の医療機関へ患者様がお戻りできるように心がけて院内外の調整を行っています。また、日常的な診療や健康管理などを行ってくれる身近なお医者さん「かかりつけ医」を持つことをお勧めしています。

「相談業務」は、退院後の生活に不安がある場合のご相談や在宅介護や転院先などのお問い合わせから、社会福祉の制度や医療費の支払い、生活費に困っている場合などの経済的な問題まで療養生活に伴うさまざまな不安に対して、専任の看護師・社会福祉士・臨床心理士がご相談にのっています。



また、地域医師会の先生方や訪問看護師、関係機関の方々との連携のもと、在宅療養に向けた支援にも積極的に取り組んでいます。

地域連携課では、患者様・ご家族がどのようなお気持ちや状況におかれているのかお話を伺い、病院のスタッフに伝え、チームでみなさんをサポートします。あなたの「こうしたい」「こうありがたい」という思いをお話ください。

ご相談の際は 1 階エントランスホール地域連携課「かけはし」の「患者相談窓口」へお気軽にお声がけください。



がん看護専門看護師の役割 ～がん看護専門看護師の資格を取得しました～

がん看護専門看護師
酒井 美紀子

がん看護専門看護師は、がんと診断された患者様とそのご家族が、より良い治療を選んでいけるよう、話し合いながら一緒に考え、問題解決していくことが大きな役割です。病院内だけに限らず、必要であれば地域の様々な職種の方とも幅広く関わりを持ち、患者さんが安全に医療を受けられるよう支援していきます。また、“いつでも、どこでも、誰でも”切れ目のないケアが受けられるよう、がん患者様を支援できる看護師を育成する役割もあります。

専門看護師に特に求められていることは、“患者さんと自分だけの関係に留まらない”という点です。患者様の治療や生活に関わる人とできるだけ多く相談し、また、必要なタイミングを見極めて、様々な職種のみなさまとの『繋ぎ役』となれるよう、日々の患者様との関わりを大切にしていきたいと思えます。

2人に1人ががんになる時代となり、以前と比較してがんは身近な病気になりつつあると言われています。しかし、実際にがんになって初めて、「これまでがんは自分に関係のない病気のように思っていた」と話される方もみえます。私は、「がんを発症する」という受け入れがたい出来事に面して、これからの治療や生活について不安を抱える患者さんやご家族と、不安や葛藤を共有し、ともに悩み考え、納得できる道を選択していただくことをお手伝いしていきたいと思っています。

当院には、がんの痛み、抗がん剤治療、緩和ケアなど、がんに関連する資格をもつ看護師が複数在籍しています。私たちは、それぞれの持つ力を最大限発揮して互いに協力し合い、患者様とご家族に寄り添い、向き合い、常に行く手に立ちほだかる壁を乗り越えられるよう支援し続けます。

私は、資格を取得したとはいえ、まだまだ新米の専門看護師です。患者様やご家族にとって、良い伴走者となれるよう、尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



ハイ! ドクター ちょっと、おしえ〜て!!



生活習慣と脂肪肝

副院長 白木 克哉

肝臓に脂肪が蓄積した状態を「脂肪肝」といいます。つまり、肝臓がフォアグラ状態になっているわけです。今まで、脂肪肝は軽い病気であり問題ないと考えられてきましたが、最近、脂肪肝でも慢性肝炎、肝硬変、さらには肝臓がんになる可能性があることがわかってきました。また、脂肪肝は単に肝臓の病気だけではなく、動脈硬化や、心筋梗塞など生活習慣病の危険性を増加させることが知られています。これらの脂肪肝はお酒をあまり飲まない方にも増加してきています。

脂肪肝の診断は、肝機能値(AST, ALT, γ -GTP)や腹部超音波検査などによって簡単にできます。健康診断で肝機能の異常が指摘された方は病院で精密検査を受けることをおすすめします。

脂肪肝を改善するには、有効な薬はなく、生活習慣の改善が極めて大切です。食事療法、禁酒や運動によって肥満を改善し、適正体重を保つよう努めてください。

食事療法では、適正なカロリーの摂取を心がけバランスのとれた栄養をとることが大切です。間食や夜間の食事は極力避けましょう。運動は1日30分以上の有酸素運動（軽く汗ばむ程度）を習慣づけることが有効です。また、可能な限り、飲酒量を減らし規則正しい生活をするのが望まれます。このように生活習慣を改善することによって、徐々に肝機能値が正常化し、腹部超音波検査により脂肪肝の改善状態が確認できます。

脂肪肝はメタボリック症候群（内臓脂肪蓄積、脂質異常症、高血圧、糖尿病）と密接に関連していますので、これらの合併症の改善も並行して行う必要があります。具体的には、ウエスト周囲径（男性 ≥ 85 cm、女性 ≥ 90 cm）、高トリグリセリド血症 ≥ 150 mg/dL、低HDLコレステロール血症 < 40 mg/dL、収縮期（最大）血圧 ≥ 130 mmHg、拡張期（最小）血圧 ≥ 85 mmHg、空腹時高血糖 ≥ 110 mg/dLの項目に当てはまる方は特に注意が必要です。禁煙も重要です。このような状態をほっておくと、心筋梗塞や脳卒中になる危険が大きく上昇します。

脂肪肝を軽視せず、メタボリック症候群の危険信号が点滅していると認識し、積極的に改善に努めることが重要です。

地域医療機関の先生方へ 救急外来への患者さんの紹介についてのお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。

「がん市民公開講座」を開催しました

当院は、「三重県がん診療連携拠点病院」として、手術、化学療法（抗がん剤治療）、放射線治療を効果的に組み合わせた集学的治療や、緩和ケアチームによる緩和医療を行っています。

がんの治療方法だけでなく、治療中・治療後の生活について、地域住民の皆様にご覧いただくため、平成30年2月17日(土)に「がん市民公開講座」を開催しました。

今年は、当院の医師とがんを経験された方を講師に「がん」とQOL(生活の質)をテーマとした講演を行いました。終了後にいただいたアンケートでは、「治療にあたる医師の話を知ることによって安心して受診できる」「成功体験を知ると勇気が湧いてくる」といった感想のほか、「がんにかかわる予防の講座があれば参加したい」「新しい治療方法、早期発見の方法について聞きたい」といったご要望をいただきました。

来年度の開催に向けて、こうしたご意見を参考に内容を検討し、改善を図ってまいります。



非常勤職員を募集します

現在、院内で働いていただく非常勤職員を次のとおり募集しています。お問い合わせは、事務局総務課（TEL.059-345-2321）までご連絡ください。

- 募集職種 薬剤師、臨床放射線技師、臨床検査技師、ヘルパー、看護助手
- 募集人数 若干名
- 免許資格 薬剤師免許、診療放射線技師免許、臨床検査技師免許、ホームヘルパー2級
※看護助手は特に必要ありません。
- 賃 金 1日 8,030円～11,510円（実働に応じて時間外手当支給）
- 勤務日数 土曜日、日曜日、祝日を除き月18日勤務
※ヘルパー、看護助手は別途相談
- 勤務時間 8:30～17:15（昼1時間休憩）
※ヘルパー、看護助手は別途相談（スライド勤務）
- その他 通勤手当支給、社会保険・雇用保険・労働災害保険加入



医療機関の機能分化(役割分担)にご理解をお願いします

医療機関には、大学病院や当院をはじめとした総合病院、診療所（〇〇医院、〇〇クリニックなど）まで、さまざまな名称や規模のものがあ、それぞれの医療機関が役割分担しながら、地域の医療を担っています。

総合病院は、救急患者の受け入れや、診療所等から紹介を受けた高度な医療（手術や精密検査など）が必要な患者に対する治療を行っています。

そして、総合病院での治療を終えられた患者を診療所へ改めて紹介（逆紹介）するなど、診療所と総合病院の連携を図っています。

一方、診療所は、地域住民の「かかりつけ医」として初期診療を担っています。

「かかりつけ医」とは、日常的な病気の治療や健康管理、また、大きな病気を患っている可能性の精査を行う医師です。

「かかりつけ医」を決めて、ご自身やご家族の心身の状態を良く知っておいてもらうことで、

- 待ち時間が比較的短く、じっくりと診察してもらえる。
- 心身の状態や過去の病気、生活環境などを考慮し総合的に診断するとともに、食事面など、日常生活上の健康管理についても適切にアドバイスしてもらえる。
- 入院や精密検査等が必要になった場合に適切な病院や専門医を紹介してもらえる。



などのメリットがあります。

特に、精密検査や高度な治療が必要になり、総合病院を受診する際には、「かかりつけ医」の診療情報が記載された紹介状を持って受診することで、これまでの治療経過がわかり、正確な診断やスムーズな治療につながります。

このような役割分担のもと、当院では、紹介患者優先の診療を行っていますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

三重県立総合医療センター選定療養費（非紹介患者加算料）を引き上げました

このたび、地域の医療機関との機能分化の推進を図るため、平成30年4月から、**選定療養費を5,400円に改定**いたしました。また、当院での診療が終了し、地域の医療機関へ逆紹介（かかりつけ医へ紹介）がなされたにも関わらず紹介状なしに再度受診された場合や、地域の医療機関への逆紹介を当院医師から打診されたにも関わらず引き続き当院での診療を希望された場合にも、再診にかかる**選定療養費2,700円を別途ご負担**いただくこととなります。

ご理解いただくとともに、当院受診の際には、かかりつけ医の紹介状を持参いただきますようお願いいたします。

地方独立行政法人三重県立総合医療センター

※選定療養費とは、一般病床200床以上の病院と地域の医療機関（かかりつけ医）との役割分担を推進するとともに、紹介患者様（他院の紹介で来院される方）と非紹介患者様（紹介を受けずに直接来院される方）との経済的負担の公平性を図るために、病院が徴収することができる保険外の特別料金です。



重心動揺検査をご存知ですか

重心動揺検査は、直立姿勢に現れる身体動揺を重心の動揺として捉え、記録・分析して、身体平衡の維持に働く系、すなわち視覚系、前庭・半規管系、脊髄固有反射系及びこれらの系を制御する中枢神経系の機能を検査するものです。

重心動揺検査は、主に『めまい・平衡障害の把握』に有用な検査であると一般的に認められています。この特性を利用し平衡障害の他覚的把握、平衡障害の程度の把握、疾患経過の観察、治療効果の観察、平衡訓練効果の評価、治癒の判定などが行われています。

この装置は患者様に検査台（体重計のようなもの）に乗っていただき、ふらつきの度合いを客観的に診断する検査です。通常の検査の流れとしては、開眼で60秒間、閉眼で60秒間、検査台の上に両足を揃えて立っていただき、それぞれの重心の揺れを測定します。左右の揺れや前後の揺れの度合い、閉眼によつての揺れの増強具合などを評価します。

この度、重心動揺計が『アニマ株式会社製：グラビコーダGW-5000』に更新されました。検査所要時間は、約5分程度です。



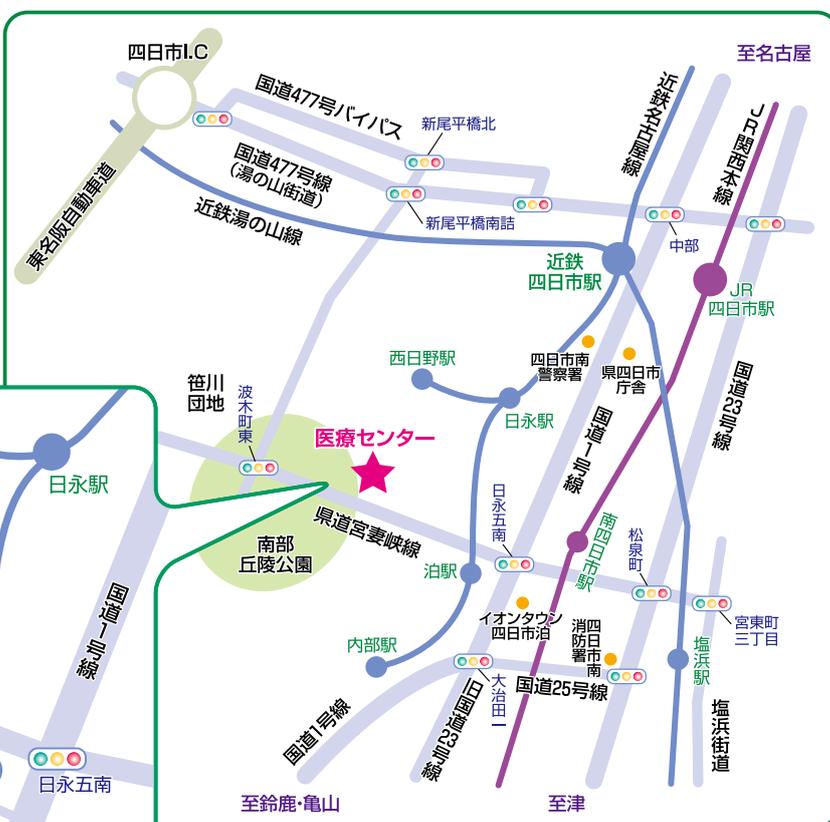
三重交通バス

近鉄四日市駅より
約25分

近鉄塩浜駅より
約20分

近鉄内部線

泊駅より
徒歩15分



外来診療医師担当表

平成30年4月2日現在

		月		火		水		木		金	
総合内科	初診	1診	担当医	1診	中澤	1診	林	1診	伊藤	1診	後藤
	初診・再診	2診	白木	2診	水谷	2診		2診	鶴賀(午後)	2診	森谷
消化器内科	初診	3診	大矢	3診	井上	3診	白木/山中	3診	森谷	3診	菅/西浦
消化器内科	再診	4診	井上	4診	森谷	4診	西浦	4診	山中	4診	大矢
消化器内科	再診	5診		5診		5診	菅	5診	白木	5診	
循環器内科	初診	6診	動脈硬化・血管外来 牧野	6診	角田	6診	増田	6診	中嶋	6診	牧野
循環器内科	再診	7診	中嶋(午後)	7診		7診	角田	7診	牧野	7診	増田
循環器内科	再診	5診	加藤							不整脈外来	藤田
循環器内科	再診									ペースメーカー	角田
※消化器内科金曜日(3診)は菅が第1・3・5週目、西浦が第2・4週目診察 ※循環器内科金曜日のペースメーカー外来は第2週目と第4週目のみ											
呼吸器センター	初診	1診	吉田/鶴賀	1診	笹邊	1診	藤原	1診	寺島	1診	児玉
	再診	2診	寺島			2診	児玉	2診	鶴賀(午後)	2診	藤原
	再診					3診	笹邊	3診	吉田		
※呼吸器内科月曜日(1診)吉田は紹介状											
消化器・一般外科	1診	毛利靖彦	1診(午前)	担当医(毛利靖彦)	1診	尾嶋	1診	毛利靖彦	1診(午前)	毛利智美	
	2診	尾嶋	2診	大竹(小児外科)	2診(午前)	今岡	2診	毛利智美	2診	川村	
	3診	伊藤			3診	渡部					
がんサポート室	渡部(緩和外来)						がんサポート室	渡部(緩和外来)			
乳腺外科	予約診	乳腺外来(山下)	3診	山下			3診	山下	予約診	乳腺外来(山下)	
心血管外科/呼吸器外科	1診	庄村	1診	新保	1診	近藤				1診	澤田
			2診	鈴木							
脳神経外科	1診	青木	1診	山本	1診	田代	予約診	担当医	1診	梅田	
	2診	亀井	2診	山道					2診	亀井	
									午後予約制	脊椎腫瘍外来	
脳神経内科	初診(午前のみ)	鈴木	予約診	鈴木	初診	担当医	初診/予約診	鈴木	予約診	古田	
			初診	古田	紹介予約制	ものわずれ外来(交代制)		掃部	初診	加藤	
※水曜日は第1週・第2週・第3週のみ、第4週・第5週は完全休診 ※木曜日は鈴木(1診) 予約診が第1・第3週目、初診が第2・第4週目診察、掃部(2診) 初診が第1・第3週目、予約診が第2・第4週目診察											
小児科	1診	杉山	1診	西森	予約	太田	1診	太田	1診	杉山	
	2診	山口	2診	清	予約	杉山	2診	西森	2診	櫻井	
	3診	清	3診	太田	予約	大森	3診	大森	3診	山口	
	4診	櫻井	予約	予約医師	時間外/紹介	清/山口/櫻井/西森			4診	清	
産婦人科	1診(初診)	中野	1診(初診)	田中 ~10:30 井澤 10:30~ 小田 14:00~	1診(初診)	秋山	1診	朝倉	1診(初診)	脇坂	
	1診(午後)	母体胎児診断									
	2診(初診)	担当医(9:30~14:00)	2診(午前) 2診(午後)	中野 脇坂	2診	谷口	2診(初診) 午後	担当医(9:30~14:00) 1ヶ月検診	2診	井澤	
	3診	井澤	3診	朝倉	3診	田中	3診	たんぼぼ(助産師)外来	3診	朝倉	
	4診	たんぼぼ(助産師)外来	4診	秋山	4診	小田	4診	リンパ浮腫ケア外来	4診(午前) 4診(午後)	担当医	
整形外科	1診(午前)	北尾(紹介、膝、肩)	1診(午前)	北尾(膝関節外来(再診))			1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介、初診)	
	1診(午後)		1診(午後)	北尾(再診)			1診(午後)				
	2診(午前)	柿本(紹介、初診)	2診(午前)	服部徹也(紹介、初診)			2診(午前)	矢田(紹介、初診)			
	2診(午後)		2診(午後)	柿本(再診)			2診(午後)	矢田(再診)			
	3診(午前)	矢田(引八、再診)	3診(午前)	柿本(引八、再診)			3診(午前)	服部徹也(引八、再診)	3診(午前)	服部佳生(引八、初診)	
	3診(午後)		3診(午後)	服部佳生(再診)			3診(午後)	服部徹也(再診)			
皮膚科	1診	市川	1診	加古	1診	加古	1診	戸澤	1診	加古	
			午後	褥瘡回診	午後	手術					
泌尿器科	1診	荒瀬	予約診	堀(男性外来)	1診	景山	1診	栃木	1診	松浦	
	予約診	松浦			予約診	荒瀬	予約診	松浦	予約診	荒瀬	
眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗	
耳鼻いんこう科	1診	鈴木	1診	鈴木	1診	鈴木	1診	鈴木	1診	鈴木	
精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	
放射線科	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴	

※都合により変更することがありますので、最新の担当表をホームページかお電話でご確認ください。